

Istanbul Weekly vol.6-no.18

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年5月12日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：**国民投票結果が確定：賛成 51.41%、反対 48.59%。
エルドアン大統領が AKP に再入党、党首に選出へ。
- 経済：**S&P、トルコ国債格付けを維持、見通しは弱含み。
第1四半期の粗鋼生産量、対前年比 14.1%増加。
- 治安：**1月～4月における PKK 加入者は昨年比 9 割減少。
エルドアン大統領が米国による YPG への軍事支援決定を批判。
- 軍事：**イスタンブールで第 13 回国際防衛産業展を開催。
カタール・ドーハにトルコ・カタール共同部隊司令部を設置予定。
- 社会：**メトロバス 20 台、一般路線バス 2 千 487 台に運転手キャビンを設置。
米行き飛行機内の電子機器の持ち込み禁止措置：ヨーロッパ大陸にも適用。

政治

【内政】

- CHP の内部対立が顕在化：副党首兼報道官の辞任など**
6 日、ビョケ CHP 副党首兼報道官は、国民投票の不公平さに対する執行部の姿勢が不十分である等の理由で役職から辞任した。また、党内の有力議員の一人であるサーラル CHP 議員は、クルチダルオール党首の党運営を「ワンマン」と批判したと報じられ、党内の規律委員会により賛成多数で党追放処分を科されることになった。（5 月 9 日付 S 紙 24 面他）
- ユルドゥルム首相、議院内閣制「最後の首相」としての心境を吐露**
7 日、トルコの首相としてモルドバを初訪問したユルドゥルム首相は、帰途の機内でヒュリエット紙に対し、「（国民投票という）業務を完了し、安堵している」と心境を述べつつ、国民投票の結果、過半数（50%）を超える国民の意思によって政権選択を可能にする政治が実現することになったと評価した。（5 月 8 日付 H 紙 20 面）
- ギュル前大統領の父が死去：葬儀に与野党を超えた出席**
8 日、ギュル前大統領の父が死去したことを受けてカイセリ県で行われた葬儀に、エルドアン大統領、カフラマン国会議長、ユルドゥルム首相に加え、クルチダルオール CHP 党首も参加するなど、与野党を超えた出席者の顔ぶれが注目された。（5 月 9 日付 S 紙 22 面）
- CHP と HDP、国会の裁判官・検察委員会委員の選出プロセスへの不参加を表明**
国民投票の結果、裁判官・検察官委員会（YSK）に国会から委員 7 名を選出すべく憲法が改正されたことを受けて開催された国会憲法・法務合同委員会の会合で、CHP と HDP は、正統性を欠いた国民投票結果に基づく新制度は承認し

得ないとして、HSK への選出に加わらない意向を明らかにし、同会合を途中退出した。（5 月 10 日付 C 紙 5 面）

●**アタテュルク侮辱の罪で、2 名に逮捕命令**

作家のイエシルユルト氏がテレビ番組の中でアタテュルク初代大統領の養女アフエット・イナンを「愛人」等と述べたこと、及び、ヌル教団に属する宗教指導者であるハカン・アイドゥンが動画の中でアタテュルクの身内が売春宿で働いていた等述べたことに対し、治安当局はアタテュルク侮辱罪の疑いでこの 2 人にそれぞれ逮捕状を発出した（5 月 11 日付 H 紙インターネット版他）

●**PKK 関与で有罪判決の HDP 議員が議員資格を喪失**

9 日に行われた国会本会議において、PKK メンバーの葬儀に参加したこと等を理由に裁判所から有罪判決を受けた HDP のアイドアン議員に関する判決文が読み上げられ、同議員の不逮捕特権は解除され議員資格を失った。同様の理由での HDP 議員の資格剥奪はユクセクダー共同党首に続き 2 人目で、HDP の国会議員数は 57 人となった。（5 月 10 日付 C 紙 4 面）

【外交】

●**訪米中のボズダー法相、米国にギュレン氏の送還を要求**

8 日、訪米中のボズダー法相は、セッションズ米法務長官と 45 分間会談し、ギュレン氏の拘束及びトルコへの送還を要求した。同氏の送還は、5 月 16 日から 17 日に予定されるエルドアン大統領とトランプ米大統領の首脳会談の主要議題の一つになる見込み。（5 月 9 日付 S 紙 24 面）

●**エルドアン大統領、「欧州の日」でメッセージ**

5 月 9 日の「欧州の日」に併せ、エルドアン大統領は祝福のメッセージを発出した。同大統領は、トルコは数百年にわたり「ヨーロッパの一部」であるとして、トルコとして EU 加盟の実現や EU との「Win-Win の」関係構築の重要性を強調するとともに、欧州におけるポピュリズム政治の手

段として台頭する排外的な言動は脅威であると警告した。
(5月10日付S紙22面)

経済

【マクロ経済】

●S&P、トルコ国債格付けを維持、見通しは弱含み

国際信用格付会社 S&P は 5 日、トルコの信用格付け水準を変更しなかった。一方、同社はトルコ政府の債務負担は低水準であるものの、同国の緩慢な経済成長、及び為替相場の変動によるインフレ圧力の高まりを根拠として、格付けの見通しを弱含み（ネガティブ）とした。また、企業部門の米ドル依存が、経済全体の利益を抑制しているとの分析も行った。一方、トルコの対 GDP 比の債務負担水準が維持され、インフレ圧力が低下すれば、格付けの見通しを安定的とすることも可能であるとした。(5月8日付 HDN 紙 10 面他)

●欧州復興開発銀行、トルコ経済成長の減速を予測

10 日、欧州復興開発銀行は、2017 年のトルコの経済成長率は治安と地政学的リスクにより 2.6%に減速すると予測。トルコ国債が投機的な水準の格付けに引き下げられたことが投資家心理に影響すると分析。同行は 36 ヶ国の経済成長予測を出して中で、地域別としては南東地中海地域の国は 3.7%、中央アジアの国は 3.8%、全体の平均は 2.4%であった。(5月11日付 HDN 紙 10 面)

●3月の工業生産、対前年同月比 2.8%上昇

統計庁は 8 日、3 月の工業生産指数（暦調整値）は対前年同月比 2.8%上昇したと発表。電気・ガス等供給指数は同 7.7%、製造業指数は同 2.5%上昇したが、鉱業及び採石業指数は同 3.8%低下。対前月比では、工業生産指数は 1.3%上昇。鉱業・採石業指数は 2.1%、製造業指数は 1.6%上昇したが、電気・ガス等供給指数は 1.1%低下。最も上昇したのは耐久消費財で、6.4%。(5月9日付 HDN 紙 11 面)

●第1四半期の粗鋼生産量、対前年比 14.1%増加

世界鉄鋼協会が 8 日に発表した統計によると、トルコの第 1 四半期における粗鋼生産量は 880 万トンに達し、対前年比 14.1%の増加だった。トルコの粗鋼生産量は世界 67 ヶ国中第 8 位。トルコ鉄鋼生産者協会のヤヤン事務局長は、今後も増産が継続すれば、今年の生産高は最終的に 3520 万トンに達することも可能であると発言。粗鋼の国内消費は対前年同期比で 10%落ち込んだものの、輸出が対前年同期比で 20%増加し、米ドルベースでは 33.3%増の 34 億ドルだった。(5月9日付 HDN 紙 11 面)

●3月の小売売上高、対前月比 2.1%増

統計庁によると、3 月の小売売上高は対前月比 2.1%増加した。電気製品や家具（同 5.3%増）、テキスタイルや衣料品（同 4.6%増）の好調な売れ行きが後押しした。一方、食料品・タバコ等の売上は同 1.2%減であった。(5月10日付 HDN 紙 10 面)

【金融関連】

●欧州復興開発銀行、トルコ・ウェルスファンドをパートナーに

5 日、欧州復興開発銀行 (EBRD) の幹部、Jean-Patrick Marquet 氏は、インフラ融資、エネルギープロジェクト、金融市場を発展させるため、トルコ・ウェルスファンド (TVF) をパートナーとしたいとの意向を発言。同氏は、より多くのトルコ企業をボルサ・イスタンブール及び世界

の株式市場に上場させることであると述べた。(5月7日付 HDN 紙 10 面)

●国際金融公社とオランダ系銀行、フィナンス・リーシングへ長期融資

4 日、世銀グループの国際金融公社 (IFC) とオランダ及び起業家開発銀行 (FMO) は、QNB 銀行系列のフィナンス・リーシング社に長期融資を行うことを発表。この融資により、トルコ国内の中小企業への貸付を促進し、環境に優しい製品への投資や生産コストの削減、環境保護の推進に繋げることが狙い。IFC は 5000 万ドル相当の融資を、FMO は 3500 万ドル相当の融資を行ういずれもリワード。(5月5日付 HDN 紙 10 面)

【エネルギー関連】

●露ガスプロム社、トルコ・ストリーム建設開始

露のガスプロム社は 7 日、トルコ・ストリーム・ガス・パイプラインの建設が黒海のロシア側沿岸で開始されたと発表。同パイプラインは黒海の海底を通じ、トルコを經由して EU 圏に天然ガスを供給する。2019 年末に運営開始予定。(5月9日付 HDN 紙 10 面)

【企業の動き】

●リマク社、クウェートの国際空港拡張プロジェクトに着手

9 日、リマク社とクウェートのアル・ハラフィー・インターナショナル社は、クウェート国際空港の拡張プロジェクト着工記念式典を開催。同プロジェクトには 43 億ドルが計上されており、湾岸諸国でトルコ系企業が落札したプロジェクトとしては過去最大。式典に出席したエルドアン大統領は、過去 14 年にトルコ系企業が同地域で計 510 億ドル余りの契約を結んできたことに触れ、FTA の早期締結も含め、今後も経済関係を強化していくと述べた。(5月10日付 HDN 紙 1 面及び 10 面)

●カレ・グループ、ロールスロイス社とジェットエンジン開発へ

カレ・グループは 10 日、英国ロールスロイス社と商用・軍用航空機のエンジンの開発を行うジョイント・ベンチャー (JV) を設立することを発表。同 JV の株式の 51%はカレ・グループが所有し、トルコで計画されている TF-X 戦闘機に供給されるエンジンを開発する。(5月9日付 HDN 紙 1 面及び 10 面)

●トスヤル・ホールディング、米国 Harsco 社と金属リサイクルの JV 設立

鉄鋼大手のトスヤル・ホールディングは 8 日、米国の大手企業ハースコ社と、鉄鋼設備の金属再利用及びスラグ販売の JV をオスマニエ県に設立したと発表。ファット会長は、この JV の設立により、スラグの処分というトルコ鉄鋼業界における積年の問題を解決できるだけでなく、金属の再利用によりトルコ経済に貢献できると述べた。(5月11日付 HDN 紙 11 面)

●トルコ・英国の BNA 社、独・仏系 AES と合同で電子制御システム開発へ

スロル・ホールディングと英国の BAE システム社との JV である BNA 社は 10 日、ドイツに本社を置く AES 社と合同でエンジンの電子制御システムを開発・生産すること合意した。AES 社は独の MTU アエロ・エンジン社と仏のサフラン・エレクトロニクス&ディフェンス社の JV で、軍用及び商用の航空アプリケーションのためのハード及びソフトウェアの開発を行っている。(5月11日付 HDN 紙 11 面)

【観光関連】

●イスタンブール、植毛ツーリズムにブームの兆し？

イスタンブールは植毛手術を目当てとした外国人観光客の人気渡航先となりつつある。手術代金の他、空送迎、宿泊、観光がセットになったツアーが 1200 ユーロ程。欧州では同様の手術のみで 6000 ユーロ程になる。医療ツーリズム協会によると、毎月 5000 人が植毛目的のためにトルコへ渡航し、ツアー者の大半が中東・湾岸諸国からという。(5 月 10 日付 HDN 紙 11 面)

【その他】

●トルコと中国、シルクロードの再興に向けたビジョンを共有

中国・北京では、14～15 日に「一帯一路」国際協力サミットフォーラムが開催される。トルコは 2016 年に自国の「中央回廊」プロジェクトと中国の「一帯一路」プロジェクトを調和させる覚書を中国と締結。キレル独立工業家・実業家協会(MUSIAD)副会長によれば、トルコは北京とロンドンを結ぶ古代のシルクロードを現代に復活させるビジョンとして、新たな高速道路と鉄道網の建設を掲げている。サバンジュ大学のアルタイ・アトル氏は、中央回廊計画とカルス・エディルネ鉄道により、中国はヨーロッパへのアクセスが向上すると評価し、既に、これらのプロジェクトに関する中国のアクション・プランがトルコ経済省に提出されており、近日中に公開されるだろうと HDN 紙に述べた。(5 月 11 日付 HDN 紙 3 面)

●ドイツ経済相、「ドイツ企業の更なる投資のためには法の支配の徹底を」

ツィプリース独経済相は 8 日、トルコにおいてドイツ企業が更なる投資を行うためには、トルコ政府が法の支配を徹底し、信頼できる状況を確認することが必要であると発言。同相は現在の両国間の貿易や投資額が 120 億ユーロに達することに触れ、ドイツはトルコとの経済・貿易関係を強化することと共に、政治上の相違についても、より緊密な対話を維持することを切に望んでいると強調した。(5 月 10 日付 HDN 紙 11 面)

治安

【PKK 関係】

●1 月～4 月における PKK 加入者は昨年同期比 9 割減少

内務省は、1 月から 4 月における PKK 新規加入者は 41 名で、昨年同期(415 名)と比較して 9 割減少したと発表した。月別の加入者数を見ると、昨年は、1 月 152 名、2 月 124 名、3 月 80 名、4 月 59 名であったが、今年は、1 月 11 名、2 月 12 名、3 月 10 名、4 月 8 名となっている。また、今年の同期間に PKK メンバー 229 名が投降している。(5 月 5 日付 HDN 紙インターネット版)

●PKK は都市部回避に戦術を変更

政府高官によると、トルコは、イラン国内の PKK キャンプを拠点とする 800～1000 人のテロリスト対策として、ウーデュル県のイランとの国境に 70 キロメートルの壁を建設する計画を立てている。またトウンジェリ県とエラズー県を結ぶ幹線道路には監視カメラを配備する。当局によると、PKK は、以前は都市部にテロリストを送り込む戦術をとっていたが、警察・ジャンダルマによる摘発を避けるため、現在は都市部を回避するよう方針を変えている。(5 月 8 日付 HDN 紙インターネット版)

●治安部隊がスルナク県で過去最高量の武器を押収

治安部隊は、シュルナク県のインジェベル・カト山で PKK が武器庫としていた 25 個の洞穴を捜索し、過去最高量の武器を押収した。軍によると、カラシニコフ 237 丁、ライフル 23 丁、マシンガン 9 台、ショットガン 3 丁、ロケット弾 9 発、迫撃砲 7 発、7.62 ミリ弾薬 5 万 7540 発、マシンガン弾薬 3 万 2,242 発、徹甲弾 7,330 発、爆薬 4 トン、手榴弾 240 個、対戦車用地雷 16 個、対戦車ロケットランチャー 4 台等が押収された。(5 月 8 日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、5 月 8 日付 HDN 紙インターネット版より)

●対 PKK オペレーションでロシア製の対空ミサイルを押収

10 日、内務省は、シュルナク県で実施された対 PKK オペレーションでロシア製の対空ミサイル SA-16 が押収されたと発表した。同ミサイルは、可搬式のもので地下 500 メートルに掘られた穴の中から発見された。

【DHKP/C 関係】

●警察が DHKP/C 関連の出版社を捜索

7 日、警察は、DHKP/C と関連があるとしてイスタンブールのペルゲ出版社に対する捜索を行い、クルド関連書籍 2,000 冊を押収し、従業員アイシェ・ザラコルを一時的に拘束した。同出版社は、1977 年にラグブ・ザラコルとアイシェ・ザラコルにより創業されたが、ラグブ・ザラコルは、2011 年に実施された PKK 傘下の KCK に対する捜索に関連して逮捕され、2012 年に釈放されていた。(5 月 8 日付 HDN 紙インターネット版)

【ISIL 関係】

●アダナ県の対 ISIL オペレーションで外国人 7 名を含む 12 名を拘束

5 日、警察は、アダナ県の 9 か所で対 ISIL オペレーションを実施し、12 名(イラク人 2 名、シリア人 5 名、トルコ人 5 名)を拘束した。3 名の容疑者が逃走しており、警察が行方を追っている。(5 月 3 日付 HDN 紙インターネット版)

●レイナ事件の実行犯に終身刑を求刑

検察は、1 月 1 日にナイトクラブ・レイナを襲撃し、39 名を殺害、65 名を負傷させたアブドゥルカデル・マシャリポフに対して、40 回分の終身刑と 2,397 年以上の懲役を求刑した。マシャリポフは、事件後 16 日間逃走し、イスタンブールのエセンユルト区でキルギス人男性 1 名他と一緒にいたところを逮捕された。起訴状には、マシャリポフに攻撃命令を下した ISIL 戦闘員アブ・ジハード・アル・カラチャイとロシア国籍イスラム・アタビエフの名前が含まれている。起訴状によると、マシャリポフは、昨年 12 月 26 日、イスタンブールのバシヤクシェヒル区で他の ISIL 戦闘員から 700 リラとアタビエフによる攻撃命令のボイスレコードを受け取り、翌 27 日に撮影した遺言ビデオで息子に自爆犯になるように諭していた。事件当日に使用した銃と弾薬は、同 28 日に入手していた。(5 月 9 日付 HDN 紙インターネット版)

【FETO 関係】

●検察がギュレンに終身刑を求刑

検察は、昨年 7 月 15 日のクーデター未遂事件の首謀者とされるギュレンに対して、3,623 回分の終身刑と 2,923 年の懲役を求刑した。(5 月 8 日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、5 月 8 日付 HDN 紙インターネット版より)

●FETO との関係理由に免職されていた警察官約 3000 名が復職へ

対 FETO の捜索で押収されていたカード媒体を解読した結果、FETO との関係理由に免職されていた警察官約 3,000 名が FETO のブラックリストに掲載されていることが判明し、復職できることとなった。また、同カードにより、警察が未把握であった FETO メンバーの警察官 3 万 8,000 名の存在が明らかとなった。(5 月 10 日付 HDN 紙インターネット版)

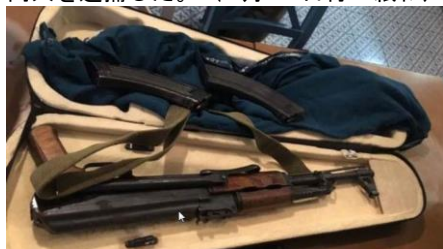
【その他】

●1 月～3 月で民間人の銃器保有数が 10%増加

内務省によると、民間人の保有する銃器は 33 万 8,052 丁で、1 月から 3 月までの間に 10%増加した。イスタンブールで 7 万 1,202 丁、アンカラで 5 万 84 丁、イズミルで 1 万 2,574 丁、トラブゾンで 1 万 63 丁、アンタルヤで 8,171 丁が保有されている。一方、ナズウラカ議員は、ウムット財団の統計を引用して、「トルコ全土で 20 万人が銃器を保有しており、250 万丁が登録済、1,700 万丁が未登録となっている。昨年 7 月 15 日のクーデター未遂事件後、一部の政治家等が民衆に武装を呼び掛け、今や 4 人に 1 人が銃器を所持している」と述べた。(5 月 8 日付 HDN 紙インターネット版)

●イスタンブールで治安機関に対する攻撃を計画していたテロリストを逮捕

警察は、シリアにおいて BÖG (左派系テログループ) のリーダーであるウラシュ・バイラクタロルが死亡したことを受けて、同グループのメンバーであるセルダール・ヴィがトルコの治安機関に対する報復を計画しているとの情報を入手した。関係箇所を捜索した結果、カドゥキョイ区内の捜索先において、ヴァイオリンケースに入ったカラシニコフ 1 丁、拳銃 1 丁、多数の弾薬を発見・押収し、同人を逮捕した。(5 月 10 日付 H 紙インターネット版)



(写真は、5 月 10 日付 H 紙インターネット版より)

軍事

●エルドアン大統領が米国の YPG への軍事支援決定を批判
10 日、エルドアン大統領は、米国が YPG に対して直接軍事支援を行う決定を下したことについて、「ISIL との戦いに他のテログループを使うべきではない。ワシントンで予定されているトランプ米大統領との初会談で同決定が覆されることを望む」と述べた。(5 月 10 日付 HDN 紙インターネット版)

●5 月 9 日から 5 月 12 日まで、イスタンブールで第 13 回国際防衛産業展を開催

(1) 5 月 9 日から 12 日まで、イスタンブールで国防省主催の第 13 回国際防衛産業展が開催される。同産業展には、防衛、航空、海事、宇宙の各分野で 50 か国以上から約 800 社が参加し、最新の車両、機材、システム等が展示され、76 の国及び国際機関の代表者等が参加する。(5 月 8 日付 YENISAFK 紙インターネット版)

(2) トルコの軍事企業 STM ディフェンス・テクノロジーズ・アンド・エンジニアリング社は、第 13 回国際防衛産業展に数種類の新型ドローンを展示する。「カミカゼドローン」、「アルパグ」、「ドーアン」と名付けられたドローンは、それぞれ爆撃、攻撃、偵察の特性を持ち、治安対策に使用されることとなっている。(5 月 8 日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、5 月 8 日付 HDN 紙インターネット版より)

●カタール・ドーハにトルコ・カタール共同部隊司令部を設置予定

ビュルビュル国防次官補は、カタールのドーハに、トルコ・カタール両国の共同部隊の司令部を設置し、トルコから兵士 500～600 人を派遣することになる旨述べた。ヤルドゥルム外務省次官補は、湾岸地域はトルコにとって要所であり、同地域の脅威となっているテロ対策は両国の共通の利益であると述べた。

(5 月 8 日付 HDN 紙インターネット版)

社会

●メトロバス 20 台、一般路線バス 2 千 487 台に運転手キヤビンを設置

イスタンブール市交通公社は、去年 9 月にメトロバス利用者が運転手を傘で暴行を加えた事件をきっかけに、運転手に対する運転の障害になるような行為の発生を防ぐために、運転席を天井まで覆う形のガラス扉を、メトロバス 20 台、路線バス 2 千 487 台に設置した。運転手は内側から鍵をかけることができる。これにより利用者が運転手に危害を加えることはできなくなるが、運転中に運転手が気を失うなどの事態が起きた場合の対応を疑問視する声も挙がっている。

(5 月 8 日付 HT 紙 17 面他)

●米行き飛行機内の電子機器の持ち込み禁止措置：ヨーロッパ大陸にも適用

トルコを含めた指定 8 か国から米国及び英国行き直行便の機内に携帯電話よりも大きな電子機器を持ち込むことを禁止する措置が、欧州全体に拡大適用される可能性が高まった。その場合、米国への直行便のうち 70% を占める仏、独等の航空会社各社は、対応に苦慮する事が予想される。なお、欧州内やトルコから英国以外の欧州連合の国々への航空便は当該措置の対象にはならない。

禁止対象電子機器：ノートパソコン、タブレット、カメラ、電子書籍閲覧機器、DVD 再生機器等（医療機器は対象とされない）

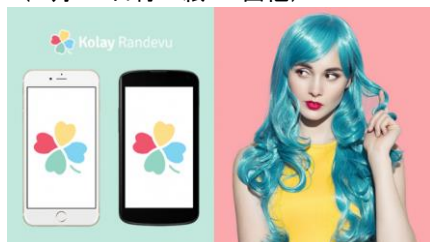
（現在の禁止対象指定 8 か国：トルコ、アラブ首長国連邦、ヨルダン、サウジアラビア、カタール、エジプト、モロッコ、クウェート）（5 月 9 日付 H 紙 12 面他）

●イスティクル通りの地下工事が完了、道路の舗装工事が開始

イスタンブール市が昨年 12 月から行っているイスティクル通りの地下工事が完了した。これまで頻繁に発生していた同通り沿いの建物地下階への浸水被害が抑えられる見通し。5 月中旬から道路の舗装工事が開始されるが、このような整備は年内には完了予定で、工事中も歩行者用の臨時通路が整備されるため歩行者の通行は可能。また、週末の夜間は歩行者が増加する事が見込まれるため、工事は行われない。（5 月 10 日付 HT 紙 19 面他）

●インターネットで美容院の予約が可能：アプリ「コライ・ランデヴ」

兵役中に知り合った 2 人によって開設されたアプリ「コライ・ランデヴ（KOLAY RANDEVU）」で、美容院、エステサロン等の美容関係の店舗予約を簡単に行うことができるようになった。登録者数は 2,600 人を超え、利用者は 13 万人を超えた。アプリはトルコ語の他に、英語でも利用可能。（5 月 11 日付 H 紙 14 面他）



（4 月 18 日付 <https://www.egirisim.com> インターネット版）

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（親与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DİSK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İşİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞	英字新聞	通信社
Akşam	A Economist	EC Anadolu News Agency AA
Cumhuriyet	C International New York Times	INYT Agence France Presse AFP
Habertürk	HT Hürriyet Daily News	HDN Ghan News Agency CA
Hürriyet	H Today's Zaman	TZ Doğan News Agency DA
Milliyet	M	Ihlas News Agency IA
Posta	P	Interpress IP
Radikal	R	
Sabah	S	
Taraf	T	
Vatan	V	
Zaman	Z	

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

イスタンブール邦人被害統計								
2017.1.1～2017.5.4 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃	盗	詐	欺	ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2016年		7件		2件		24件		2件
2017年	0件	2件	0件	0件	0件	4件	0件	0件

- 今週は、被害の届け出はありませんでした。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- 領事出張サービス(イズミル)のお知らせ(05/12) **NEW**
- トルコ:安全対策基礎データの改訂(05/11) **NEW**
- 平成29年度後期用教科書の取り纏めについて(05/04)